

韓国語の助詞 -에 と -를/-을の接点に関する研究

塩田 今日子

はじめに

日本語の助詞「～に」と「～を」に用法が似ている助詞（体言語尾とも呼ばれる）として、-에¹と-를²（名詞が子音で終わる場合は-을、以下-를で代表する）がある。これらの最もよく使われる典型的な例はつぎのようなものである。

월요일에 새 옷을 입고 학교에 갔다. 月曜日に新しい服を着て学校に行った。

したがって、-에는日本語では「～に」と訳され、-를は「～を」と訳されることが多い。しかしもちろんすべての-에が「～に」に、-를が「～を」に一对一で対応するわけではなく、学習者は日本語では「～に」を使うが韓国語では-를を使う例として、例えば만나다「会う」や타다「乗る」のような動詞を学習することになる。

어제 친구를 만났어요. きのう友達（に）会いました。³

버스를 타지 말고 지하철을 타요. バス（に）乗らないで地下鉄（に）お乗りなさい。

けれどももちろん単純に動詞を、-를 만나다 -를 타다 のように助詞とともに覚えれば済む話ではない。この場合、만나다には-에는使えない⁴が、타다には-에使う例も存在するのである。

-에と-를の両方をとることができる動詞に関しては、-에と-를の交替が可能になる動詞と名詞の種類やリストなどがこれまで詳しく論じられてきた。⁵ しかしそれを「交替」と呼べるかどうかについては疑問の余地がある。-에と-를を入れ替えることによって生じる意味の違いには、明白なものもあればほとんど感じられないも

のもあるが、ほとんど感じられないからと言って、意味やニュアンスが全く同じであると限らないのである。そこに何らかの違いを見いだすことによって、-에 と -를 が接する場所での -에 と -를 の最も周辺的な意味を明らかにできれば、逆にそれらの本質に迫れるかもしれない。もっとも周辺的な部分に見られる特徴が最も本質的な部分とつながっている可能性があるからである。そこで本稿では -에 と -를 を入れ替えることによって生じる意味やニュアンスの違いについて、できるかぎり実例⁶をもとに考察し、それらの助詞の本質の一端を明らかにしたい。⁷

1 -를 が重複して現れる場合

多くの文法書において、韓国語ではつぎのような場合に -를 が重複して現れることができる。そのうちの一つは (2) のように -에게 に入れ替えることができる。

- (1) 어머니가 아이를 밥을 주었다. 母親が子供(に) ご飯をあげた。
 (2) 어머니가 아이에게 밥을 주었다. 母親が子供にご飯をあげた。

ところが、禹 (2014) によれば、韓国語母語話者にアンケートを取ったところ、全員が (2) の言い方を選択し、(1) は不自然であるという回答がほとんどであったという。⁸ 不自然な発話について検討しても意味がないので、ここではこのような構文について詳しく扱うことはしない。

しかし 신서인 (2016) のように、(3) のように語順を変えればより自然に感じられるという意見もある。

- (3) 지수는 시계를 동생을 주었다. チスは時計を弟(に) やった。
 (4) 지수는 시계를 동생에게 주었다. チスは時計を弟に やった。

この場合、(3) は (4) に比べて、「弟」がより焦点化されているという。つまり、-를 をつけたほうが「弟」が強調されるとしている。

同様のことは、与えるものを明示せず -를 が重複しないつぎのような文においても言える。

(5) 나를 줘. 私 (に) ちょうだい。

(6) 나한테 줘. 私にちょうだい。

これらの表現は日常会話で実際によく用いられるが、韓国語母語話者⁹によれば (6) と比べて (5) は「他の人ではなく私に」というニュアンスが強かったり、督促したり怒って言っている感じがするという。このように -를には強調や強い感情を伴うニュアンスがあるようだ。

2 移動を表す動詞

-에 と -를の両方をとることができる移動を表す動詞の代表的なものは가다 (行く) である。似た文脈で -에 と -를の両方が使われる例にはつぎのようなものがある。

(7) 공원에 가다가 길을 잃었습니다. 公園に行く途中で道に迷いました。

(8) 국립공원을 가다가 숲에서 길을 잃었다. 国立公園を歩いていて林で道に迷った。

(7) の공원에は「行く到達点」を表すのに対し、(8) の공원을は「行くという行為が行われる場所」を表し、「公園の中を行く」という意味になる。¹⁰ この場合は日本語にも「～に行く」「～を行く」というよく似た表現があるため、比較的意味が把握しやすいであろう。¹¹

しかし、つぎような例は日本語訳では違いがわからない。

(9) 돈이 필요해서 회사에 간다. 金が必要だから会社に行く。

(10) 난 오늘도 회사를 간다. 이유는 간단하다. 돈을 벌기 위해서다. 私は今日も会社 (に) 行く。理由は簡単だ。金を稼ぐためだ。

このような例は나가다, 다니다のような他の移動動詞でも見られる。

(11) 저는 일요일마다 교회에 나갑니다. 私は毎日曜日に教会に出かけます。

(12) 저는 매일 교회를 나갑니다. 私は毎日教会 (に) 出かけます。

(13) 철수는 세탁 공장에 다닙니다. チョルスは洗濯工場に通っています。

(14) 저희 어머니가 주 5 일 하루 8 시간 공장을 다닙니다. 私の母は週 5 日 1 日 8 時間工場 (に) 通っています。

この場合は、(9)(11)(13)の -에はその場所に行く、(10)(12)(14)の -를は仕事をする、ミサに参加する、働くなど、何かをする目的で行く、といったニュアンスの違いがあるという。¹²

しかし、韓国語母語話者には -에を使うほうが自然で -를はやや不自然であり、-를は(5)と同様に強調するときや怒っているときに使うとを感じる人もいる。このことを裏付けるものとして、-를を使う文にはつぎのように感情的な発言例がよく見られる。

(15) “학교 안 가?” “집에 온 지 얼마나 됐다고 **학교를** 가요. 그리고 오늘 일요일이잖아요.” “얼레. 하루 종일 잠을 껴 자더니 시간개념이 없어진 거냐? 오늘은 일요일이 아니라 월요일이다.”【청】「学校行かないの?」「家に帰ってきたからいくらもたっていないのに**学校(に)**行くんですか。それから今日は日曜日じゃないですか。」「あら。一日中寝てばかりいたら時間の概念がなくなったのかい?今日は日曜日じゃなくて月曜日だ。」

(16) “저 학교 안 갈래요. 못 가겠어요. 우리가 이렇게 우는데 어떻게 **학교를** 가요.”【석】「私学校行かないわ。行けません。ユリがこんなに泣いてるのにどうして**学校(に)**行けます?」

これらの文脈では학교에よりも학교를を使う方が自然であることから、-를には感情的な強調のニュアンスもあることがうかがえる。¹³

その他、-에と-를がつく名詞によっては、つぎのようにはっきりとした意味の違いが生じる場合もある。

(17) 내가 **시집에** 가 있어야지 친정에 있어야 할 필요가 없다. 私は夫の実家に行っていないなくてはならなくて、自分の実家にいる必要がない。

(18) 언니가 **시집을** 가고 곧바로 여동생이 **시집을** 갔어요. 姉が嫁に行ってすぐに妹が嫁に行きました。

시집에 가다は「夫の実家に行く」、시집을 가다は「嫁に行く」という意味になる。

(19) 4km를 2시간에 걸었다. 4キロを2時間で歩いた。

(20) 관광버스를 타기 위해 2시간을 걸었다. 観光バスに乗るため2時間歩いた。

(19) の 2 시간 에 は 4 キロを歩くにの 2 時間かかったことを表し、(20) の 2 시간 을 は 2 時間歩き続けたことを表している。これは日本語訳では「～に」や「～を」が使えない例である。

3 타다 「乗る」

つぎに、-에 と -를 が つく 場合 の 意 味 の 違 い が わ か り や す い 例 と し て 타다 「乗る」をあげる。

(21) 운전 을 하기 보 다 는 차 라 리 지 하 철 을 타 는 것 이 편 할 것 이 다. 【책】 運 転 を す る よ り は む し ろ 地 下 鉄 (に) 乗 る 方 が 楽 だ ろ う。

(22) 학 교 까 지 차 를 타 고 다 니 나 봐 요? 【아】 学 校 ま で 車 (に) 乗 っ て 通 っ て い る み た い で す ね。

こ の よ う に、乗 り 物 を 表 す 名 詞 に つ く 場 合 に は -를 が 使 わ れ る が、名 詞 が 乗 り 物 で は な く 場 所 の 場 合 に は -에 타 다 が 使 わ れ る の が 普 通 で あ る。

(23) 조 수 석 에 타. 운 전 내 가 할 거 야. 【우】 助 手 席 に 乗 っ て。運 転 は 私 が す る わ。

(24) 혁 진 이 는 이 미 앞 자 리 에 타 있 었 고, 나 와 재 회 는 Q7 의 뒷 자 리 에 앉 았 다. 【키】 ヒ ョ ク チ ン は す で に 前 の 座 席 に 乗 っ て お り、私 と ジ ェ ヒ は Q7 の 後 部 座 席 に 座 っ た。

し か し、名 詞 が 乗 り 物 の 場 合 で も -에 타 다 を 使 う こ と が あ り、逆 に 場 所 で あ っ て も -를 타 다 が 使 わ れ る こ と が あ る。

(25) “여 기 는 복 잡 하 니 까 우 선 차 에 타 고 이 야 기 했 으 면 좋 겠 군 요.” “예, 알 겠 습 니 다. 아 저 씨, 여 기 는 복 잡 하 니 까 차 에 타 서 이 야 기 하 자 고 하 십 니 다.” 【도】 「こ こ は 混 雑 し て い る か ら か ら ま ず 車 に 乗 っ て 話 せ た ら い い ン で す が。」 「は い、わ か り ま し た。お じ さ ん、こ こ は 混 雑 し て い る か ら 車 に 乗 っ て 話 そ う と お っ し ゃ い ま す。」

(26) 용 산 이 죄 송 함 이 가득 찬 표 정 으 로 연 달 아 고 개 를 숙 었 다. 그 대 상 은 차 에 타 있 는 누 군 가 였 다. ‘도 대 체 누 가 타 고 있 기 에?’ 【힘】 ヨ ン サ ン が 非 常 に 申 し 訳 な さ そ う な 表 情 で 何 度 も 頭 を 下 げ た。そ の 対 象 は 車 に 乗 っ て い る 誰 か だ っ た。‘一 体 誰 が 乗 っ て い る か ら?’

(27) 무조건 **앞 자리를 타세요**. 발도 뺄 수 있고. 【그】とにかく**前の座席 (に)** お乗りください。足も伸ばせるし。

(25) では話をする場所として車を選んでおり、このとき車は停止していることがわかる。(26) でも、ヨンサンは止まっている車に向かって頭を下げている。また、(27) は前の座席に乗って行けという意味で使われている。つまり、-를 타다は乗って移動することを表すのに対し、-에 타다は止まっているものに乗ることを表している。このことから、-를が動的な性質を持つものにつくのに対し、-에는静的な性質を持つものにつくことがわかる。

4 따르다

따르다「つき従う、依る」は -에 と -를 がつく場合の意味の違いがより複雑で、わかりやすい場合もあれば、ほとんど感じられず大変微妙な場合もある。

以下は名詞によって -에 と -를 を使い分ける例である。

(28) 그는 **아버지를 따라서** 평양으로 내려갔다. 【처】彼は父 (に) ついて平壤に行った。

(29) **선배를 따라서** 몇 번의 경험을 쌓은 뒤 혼자서 실행纒게 된다. 【仙】先輩 (に) ついて何度かの経験を積んだ後ひとりで実行することになる。

(30) **경우에 따라서는** 융통성 있게 대처해야 한다. 【7】場合によっては柔軟に対処しなければならない。

(31) 경제 **상황에 따른** 투기자금의 이동도 유가에 많은 영향을 미치게 된다. 【해】経済状況による投機資金の移動も石油価格に多大な影響を与える。

このように、(28)(29) のような人を表す名詞には -를 のみが用いられ、(30)(31) のような抽象名詞には -에 のみが用いられるのが普通である。

しかしつぎのような場合は両方とも使うことができる。

(32) **아버지 뜻을 따라서**는 저는 절대 행복할 수가 없어요. 【가】お父さんの意志 (に) 従っては私は絶対に幸福になれません。

(33) 아버지 뜻에 따라서 살았어요.【맞】父の意志に従って生きてきました。

(34) “우선 혀를 내밀어라.” 무린은 마진성의 말대로 혀를 내밀었다. 조금 어리둥절했지만, 달리 방법이 있는 것도 아니어서 그의 말을 따랐다.【마】「まず舌を出せ。」ムリンはマジンソンの言葉通りに舌を出した。少し当惑したが、他に方法があるわけでもないので彼の言葉(に) 従った。

(35) 그가 단호하게 말할 때 일행들은 그의 말을 따랐다. 지금껏 그의 말을 따랐다가 잘못된 경우가 한번도 없었기 때문이다. 彼が断固として言った時一行は彼の言葉(に) 従った。今まで彼の言葉(に) 従って間違ったことが一度もなかったからだ。

(36) 나는 그에게 차에 탈 것을 명령했고, 이번에도 그는 내 말에 따랐다. 다행히 인적이 드문 것인지, 이것도 영화 촬영의 일종이라 생각한 것인지 별다른 소동은 일어나지 않았다.【군】私は彼に車に乗ることを命令し、今度も彼は私の言葉に従った。ありがたいことに人影がまばらなのか、これもまた映画の撮影の一種だと思ったのが特に騒動は起きなかった。

(37) 부장은 민호에게 이제 과로 돌아가라고 했다. “네, 부장님,” 민호는 두말없이 그 말에 따랐다.【디】部長はミノにもう課に帰れと行った。「はい、部長。」ミノは何も言わずにその言葉に従った。

(38) “만일 본좌의 명을 따르지 않겠다면 지금 나서라. 즉각 항명죄로 다스릴 것이다. 어찌겠느냐? 명에 따르겠느냐?” “합하...!” 결국 장수들은 복명하지 않을 수 없었다.【십】「もしも俺様の命(に) 従わないつもりなら今すぐ申し出よ。すぐに抗命罪で罰してやる。どうする? 命に従うか?」「閣下・・・!」結局将帥たちは服従せざるをえなかった。

これらの例を見ると 뜻을/뜻에、말을/말에、명을/명에の間に違いはないように見える。両方とも使用頻度に大きな差はなく、まさに交替可能な例と言えるかもしれない。

しかし、さらに詳しく見てみれば、つぎのような違いも発見できる。

(39) 이명박 전 대통령은 13 일 국회가 박근혜 대통령을 탄핵 소추한 것과 관련해 “국민의 뜻을 따른 것” 이라고 했다.【조】李明博前大統領は13日国会が朴槿恵大

統領を弾劾訴追したことと関連して「国民の意志（に）従ったもの」だと言った。

(40) 정부는 그동안 EU 탈퇴가 ‘국민의 뜻에 따른 것’ 이라고 밝혀왔다. 【매】 政府はこれまで EU 脱退が「国民の意志によるもの」だと明らかにしてきた。

(39) は国会が弾劾訴追した行為について、(40) は EU 脱退という事象について述べているので、日本語訳からもわかるように言うなれば (39) は動的、(40) は静的な性質を帯びていると言えるだろう。つぎの例もこれに似ている。

(41) 이 때 소정방이 황제의 뜻을 따라 백제에게서 빼앗은 땅을 그에게 식읍으로 주었다. 【新】 このとき蘇定方は皇帝の意志（に）従って百濟から奪った土地を彼に食邑として与えた。

(42) 황실의 모든 것은 황제의 뜻에 따라 결정된다. 【화】 皇室のすべてのことは皇帝の意志によって（従って）決定される。

上記の場合、(41) のように「意志にしたがって行動する」という文脈では -에 も使われうるが、(42) 「意志によって決定される」のような文脈では -를 は使われない。「決定される」のは受動的な事象であって能動的行為ではないからであろう。

これに対し、つぎのような場合は -를 と -에 が同じように使われていて、違いを見いだすことが困難であるように見える。

(43) 이번만은 대장님의 명을 따를 수 없습니다. (中略) 저희들의 생각이 짧았습니다. 대장님의 뜻에 따르겠습니다. 【주】 今度ばかりは大將様の命（に）従うことはできません。(中略) 私たちの考えが浅はかでした。大將様の意志に従います。

(44) “신은 전하의 뜻을 따르겠습니다.” “목숨을 달라면 기꺼이 바치겠습니다.” 【천】 「臣は殿下の意志（に）従います。」 「命をくれと言うなら喜んで捧げます。」

(45) 내 너에게 중한 소임을 맡길 것이다. 니가 내 명에 따른다면 너는 대소 전하가 황위에 오르는데 일등공신이 되는 것이다. (中略) 내 명에 따르겠느냐? 【주】 私はお前に重要な役目を任そうと思う。お前が私の命に従うならお前は帶素殿下が皇位に付くのに 1 番の功勞者になるのだ。(中略) 私の命に従うか？

ただ、あえて言うならば -를 は -에 よりも意味が強い意志が感じられる文脈で使われていると言えるかもしれない。뜻에 が使われている (43) は、仇である捕虜を

殺そうとしていた民衆が、朱蒙に説得されて仕方なく殺害を断念する場面であり、뜻을が使われている (44) では命を捧げるとまで発言している。また、(43) の명을の場合はでは將軍の命に従えないという強い意志を表しており、(45) 명에는、まだ命じる内容を明らかにする前に相手の意志を確認している場面である。韓国語母語話者の中には、これらすべての場合に -에 を使う方がより自然だと感じる人もいるが、確実に服従する意志を表すときには -를 を使うのではないか、また、どの人の命令に従うか選択しなければならないときには -를 を使うように思うと言う人もいる。いずれにせよ、大変微妙な差異ではあるが、-에 よりも -를 のほうが何らかの強調のニュアンスがあると言うことはできそうである。

5 맞다

맞다는「受ける、当たる」などの意味をもつ。

以下は、비를 맞다 (雨 (に) 当たる) / 비에 맞다 (雨に当たる) の例である。前者の形で使われることが普通だが、後者も少なからず使われる。

(46) 아침 6 시부터 그 다음날 6 시까지 24 시간을 촬영하며 비를 맞았다. 【연】朝6時から翌日の6時まで24時間撮影しながら雨(に)当たった。

(47) 3 시간 동안 비를 맞았다는 송씨 부부는 체온 측정이 되지 않을 정도로 체온이 급격히 떨어져 있었으나 다행히 혈압이나 맥박 등은 양호했다. 【연】3時間の間雨(に)当たったというソン夫妻は体温の測定ができないほど体温が急激に下がっていたが、幸運にも血圧や脈拍などは良好だった。

(48) 당시 대구 유니버시아드대회에 온 이들은 “김정일 사진이 인쇄된 플래카드가 비에 맞았다” 며 울면서 항의했죠. 【동】当時大邱のユニバーシアードに来た者たちは「金正日の写真が印刷されたプラカードが雨に当たった」と泣きながら抗議しましたよ。

(49) 머리가 젖은 상태에서는 세균 증식이 잘 일어나므로 비에 맞았다면 빨리 말려야 한다. 【매】髪が濡れた状態では細菌の増殖が起きやすいので雨に当たったなら

早く乾かさなければならない。

これらの例を見ると、비를는全身がまともに雨に当たっているが、비에はプラカードや髪の毛のような、物や自分の一部に雨が当たっていることがわかる。つまり、비를 맞았다は「雨に打たれた」、비에 맞았다は「雨に濡れた」のように訳すこともできるであろう。

つぎは총을 맞다 (銃弾を受ける、銃弾(に)当たる)/총에 맞다 (銃弾に当たる)の例である。

(50) 어깨에 **총을 맞은** 이윤태는 어깨를 부여잡으며 비명을 질렀다.【조선】肩に銃弾を受けたイヨンテは肩をひつつかんで悲鳴をあげた。

(51) 어젯밤 분명히 중구 그 새끼한테 **총을 맞은** 것 같았는데.【그녀】昨夜明らかにチョングの奴に撃たれたようなのだが。

(52) 그녀는 머리에 **총을 맞았다고** 했다. 머리에..... **총을 맞았다?** 그런데 어떻게 살아 있는 거지?【밤】彼女は頭に銃弾を受けたと言った。頭に・・・銃弾を受けた? それなのにどうして生きているんだ?

(53) 자신의 몸을 더듬거리려 보니 **총에 맞은** 흔적은 보이지 않았다.【그녀】自分の体を触ってみたところ銃弾に当たった痕跡は見えなかった。

(54) **총에 맞은** 상처는 치료할 수 있어도 사람의 입에 맞은 상처는 결코 아물지 않는 것이다.【새】銃弾に当たった傷は治療することができるが、人の口に撃たれた傷は決して癒えないのである。

(55) 다행히 **총에 맞은** 것 같지는 않았다.【피】ありがたいことに銃弾に当たったようではなかった。

(56) 옆구리를 **총에 맞았다**.【한】脇腹を銃に(で)撃たれた。

총을 맞다는(50)のように、어깨에 총을 맞다「肩に銃弾を受ける」のような構文で使われ、총에 맞다는(56)のように、어깨를 총에 맞다「肩を銃に(で)撃たれる」のような構文で使われるが、そのニュアンスを比べると、(50)(51)(52)の총을 맞다のほうがよりまともに撃たれた(傷が深い)ように感じられる。また、文の焦点は(50)では銃弾、(56)ではわき腹にあるように思われ、両方とも-를がつ

く方に焦点があたるようである。

6 스치다

스치다「かすめる、よぎる」も -를 と -에 가 ほぼ同一の文脈で使われる。日本語では「かすめる」「よぎる」とも「を」をとるので、-에 の訳は「(を)」で表示することにする。まず、「顔をかすめる風」という表現の例をあげる。

(57) 마침내 그가 그녀의 바로 앞에 멈춰 섰다. 그녀의 몸이 떨떨 떨렸다. **얼굴을 스치는** 바람이 더욱 차갑게 느껴졌다. 【나】 ついに彼が彼女のすぐ前に立った。彼女の体はぶるぶる震えた。**顔をかすめる風**がさらにつめたく感じられた。

(58) **얼굴을 스치는** 바람이 제법 시원했다. 서두를 필요는 없었지만 이렇게라도 달리지 않으면 치밀어 오르는 화를 참을 수 있을 것 같지 않았다. 【권】 **顔をかすめる風**がなかなか爽快だった。急ぐ必要はなかったが、このように走りでもしなければ込み上げてくる怒りを我慢できそうになかった。

(59) 그는 이제 어디를 가든 접는 자전거를 가져간다. (中略) “**얼굴을 스치는** 바람, 운동, 휴식” 등의 ... 【초】 彼は今やどこに行くにも折りたたみ自転車を持って行く。(中略) 「**顔をかすめる風**、運動、休息」などの…

(60) 뷰티가 앞으로 내달릴 때마다 **얼굴에 스치는** 바람이 기분 좋았다. 【여】 뷰티가前に走るたびに**顔(を)かすめる風**が心地よい。

(61) 페달을 더 힘껏 밟았다. **얼굴에 스치는** 바람마저 새로웠다. 【여행】 페달을さらに思い切り踏み込んだ。**顔(を)かすめる風**までもが新しかった。

これらの例を見る限り、-를 と -에 の違いはあまり感じられない。つぎに「目(の前)をよぎる」という表現の例をみてみよう。

(62) 방파제에서 얼마 떨어진 바다에서 하얀 파도가 일면서 언뜻 언뜻 **눈을 스치는** 것이 있었다. 처음에는 환각인가 했다. 【겉】 防波堤から少し離れた海で白波が起き、ちらちらと目(の前)をよぎるものがあった。最初は幻覚かと思った。

(63) 고개를 돌리면 시간을 그대로 흘러가게 놔둔 듯 **눈을 스치는** 풍경들이 경이롭다.

【광】顔を向ければ時間を流れるままに放っておいたように目をよぎる風景が凄い。

(64) 그들 모두의 모습이 영화의 한 장면처럼 내 눈을 스쳤다. 【더】彼らみんなの姿が映画の一場面のように私の目をよぎった。

(65) 그 순간, 눈에 스치는 것이 있었다. 무중은 갑작스레 눈을 번뜩이며 순간 눈에 스쳤던 그것을 바라보았다. 【금】その瞬間、目（の前）（を）よぎるものがあった。ムジュンは突然目を光らせ瞬間目（の前）（を）よぎったものを見つめた。

(66) 언뜻 눈에 스치는 바늘의 위치가 턱없이 낮설게 느껴지자 그는 눈가를 찌푸리며 시간을 확인했다. 【10】ちらっと目（を）よぎる針の位置がひどく見慣れない感じがしたので彼は目をこすって時間を確認した。

(67) 그가 정원의 난간 쪽으로 다가가려는데 옆집 쪽으로 흰 자취가 얼핏 그의 눈에 스쳤다. 【사】彼が庭園の欄干の方に近づこうとすると隣の家の方に白い影がちらっと目（を）よぎった。

これも、-를 と -에 の違いは微妙であるが、あえて言うならば、-를 のほうが目との接触時間が長い、よぎるものをよりはっきり認識しているのではないと思われる。-를 の (62) は幻覚かと思いつつも何かを認識しており、(63) は香港の風景を見ている場面の描写、(64) は映画の場面なのである程度の長さが感じられるのに対し、-에 の (65)(66)(67) は一瞬の出来事を表しているからである。このことを踏まえて「顔をかすめる風」の例を見ると、-를 の (57) は立ち止まっている場面、(58) は自分で走っている場面、(59) は自転車で走っている場面であるのに対し、-에 の (60) はビューティという馬に乗って走っている場面、(61) は車のペダルを踏み込む場面なので、それらの風のスピードが違うことから、これも風と顔との接触の仕方に関係していると考えられる。これらのことを踏まえると、-에 は -를 よりも表面的で少ない部分での接触を表しているように思われる。

7 앞서다

앞서다 「先んじる」は -를、-에 とともに使用例が多い動詞である。

(68) 주요 내용은 한국의 인구 고령화 비율이 오는 2060년 **일본을 앞선다**는 것이다. 【우리】 主要内容は韓国の高齡化の比率がきたる 2060年日本（に）先んじるとのことだ。

(69) 문학과 예술은 때로 **시대를 앞선다**는 사실을 상기할 필요가 있다. 【이】 文学と芸術はときに時代（に）先んじるということを想起する必要がある。

(70) 한국은 17위, 일본은 36위로 **일본에 앞선다**. 【전】 韓国は 17位、日本は 36位で日本に先んじている。

(71) 문화는 **시대에 앞선다**. 【성】 文化は時代に先んじる。

これらの例を見ると、違いはそれほど感じられない。ただし、動作や動きの継続を表す -고 있다가付く例には -를が使われることが多く、動作や動きの結果の継続を表す -아/어 있다가付く例には -에が使われることが多い。¹⁴ つぎの (72) と (73) はほとんど同じことを表現している。

(72) 전반 30분 현재 한국은 2-1로 **일본을 앞서고 있다**. 【연】 前半 30分現在韓国は 2-1で日本（に）先んじている。

(73) 한국은 1회초 현재 3-0으로 **일본에 앞서 있다**. 【뉴】 韓国は 1回表現在 3-0で日本に先んじている。

つまり (72) は일본을 앞서다という動き自体の継続、(73) は일본에 앞서다という動きの結果としての状態の継続として捉えているということである。これは前者と後者では動詞が表す局面が異なっていることと、前者が動的、後者が静的であることを意味する。この特徴が副詞줄곧「ずっと」、이미「すでに」によってよく表れている例文をあげる。

(74) 이틀, 사흘 앞을 내다보는 진로 예보의 정확도는 2011년부터 **줄곧 일본을 앞서고 있다**. 【대】 2、3日前を見通す進路予想の正確度は 2011年度からずっと日本（に）先んじている。

(75) 전자산업, 조선업 등 몇몇 분야에서 한국은 이미 **일본에 앞서 있다**. 【미】 電子産業、造船業などいくつかの分野において韓国はすでに日本に先んじている。

8 이기다

이기다 「勝つ」は -를 と -에 の両方をとることができる。実際の使用頻度は -를 のほうが高いが、-에 の例も存在する。

(76) 당시 박근혜 후보는 51.55% 대 48.02%로 문재인 후보를 이겼다. 【월】 当時朴槿惠候補は 51.55% 対 48.02% で文在寅候補 (に) 勝った。

(77) 트럼프 대통령은 지난 2016 년 대선 당시 켄터키주에서 무려 30%포인트 차이로 당시 힐러리 클린턴 민주당 후보에 이겼다. 【핌】 트럼프大統領は去る 2016 年の大統領選当時ケンタッキー州で 30 パーセントもの大差で当時のヒラリークリントン民主党候補に勝った。¹⁵

(78) 남자 배구 대표팀이 18 일 이란 테헤란에서 열린 아시아선수권 8 강 라운드 2 차전에서 일본을 이겼다. 【중】 男子バレーボールの代表チームが 18 日イランのテヘランで開かれたアジア選手権決勝ラウンド二回戦で日本 (に) 勝った。

(79) U-20 월드컵 대한민국, 이래서 일본에 이겼다! 【S】 U-20 W 杯 大韓民国、こうして日本に勝った!! (뉴스의 見出し)

これらは文脈もほとんど似通っており、違いを見いだすことは難しいが、名詞が「戦争」のような場合¹⁶ は違いがわかりやすい。

(80) 일본은 이길 수 없는 두 전쟁을 이겼다. 【국】 日本は勝つことができない二つの戦争 (に) 勝った。

(81) 사랑이 전쟁을 이겼다. 【중】 愛が戦争 (に) 勝った。

(82) 장제스는 질 수 없는 전쟁을 졌고, 마오쩌둥은 이길 수 없는 전쟁을 이겼다. 【중국】 蔣介石は負けられない戦争に負け、毛沢東は勝ち目のない戦争 (に) 勝った。

(83) 그러고도 전쟁에 이겼다면 그게 더 신기한 일이었을 것이다. 【툼】 それでもなお戦争に勝ったとするならば、そのほうがずっと不思議なことただだろう。

(84) 사실상 전쟁에 이겼다 하더라도 남을 게 없는 상황이었다. 【무림】 事実上戦争に勝ったとしても残るものがない状況であった。

(85) 그러나 우리는 **전쟁에 이겼다**는 것으로서 만족할 것이 아니다.【解】しかし我々は**戦争に勝った**ことで満足するつもりはない。

(83)(84)(85) は単に戦争に勝ったという事実を述べているが、(80)(81)(82) には勝つことができそうにない難しい戦いを勝ち抜いたことが述べられている。つまりこの場合は -에 がデフォルトで、-를 には明らかに強調の意味が付加されているということである。韓国語母語話者も -에 이겼다 は単に勝ったという事実を述べるときに使い、-를 이겼다 は「願っていたことが成し遂げられたり、期待もしなかった結果がでたときによく使うようだ。」と述べている。

9 漢字語+하다

つぎに、漢字語+하다 の中から、いくつか例を挙げて検討する。

9-1 대하다

대하다 「対する」の用例としてよく見られるのは次のようなもので、この場合は -를 と -에 の違いは比較的はっきりしている。

(86) **사람을 대하는** 마음가짐만 바꾸어도 **상대를 대하는** 태도가 바뀐다.【일상】人(に) **対する**心の持ちようだけ変えても**相手(に) 対する**態度が変わる。

(87) 이미 우리가 알고 있는 직업에 관한 정보가 사라지거나 기존의 **직업에 대한** 고정관념이 깨지기 시작하고 있습니다.【20】すでに我々が知っている職業に関する情報が消えたり、既存の**職業に對する**固定観念が壊れ始めています。

(88) 어떤 **사람에 대한** 첫인상이 매우 좋았다.【끝】ある人**に對する**第一印象は大変良かった。

(86) のように -를 がつけば、「～に相對する」「～に向き合う」という具体的な意味で連体形は 대하는 となり、(87)(88) のように -에 がつけば「～に對する」という抽象的な意味で連体形は 대한 になる。-에 대한 は「～に對する、～についての」という意味の決まり文句であり、人に対しても使われる。

しかし、(86) に似た意味での -에게 대하는 の例も存在する。

(89) 부드러운 인사치레도 없는 딱딱한 총장의 말투. 내년엔 대통령이 될지도 모르는 사람에게 대하는 태도가 아니었다.【네】柔らかいというわべの挨拶もない硬い総長の言葉遣い。来年大統領になるかもしれない人に対する態度ではなかった。

(90) 나에 대한 태도를 알려거든 그가 남에게 대하는 태도를 보라는 뜻【중환】自分に対する態度を知ろうとするなら彼が他人に対する態度を見ろという意味

比較のため、-를 대하는の例もあげる。

(91) 또한 남을 대하는 태도나 배려를 가르치는 일도 중요하다. 음식점에서 점원을 대하는 태도, 택시 탈 때 운전기사를 대하는 태도.....【일】また他人(に)に対する態度や配慮を教えることも重要だ。飲食店で店員(に)に対する態度、タクシーに乗るとき運転手(に)に対する態度・・・

文脈を見れば、(86) と (89)、(90) と (91) の違いはあまり感じられないが、(90) の用例には -에게 대하는を理解するヒントが隠されているように見える。これは中国のことわざの解釈文であるが、(88) に当たる表現의 나에 대한 태도「自分に対する態度」と 남에게 대하는 태도「他人に対する態度」が同列に扱われているのである。つまり、-에게 대하는は -에 대한 と -를 대하는の中間的な意味なのではないか、ということである。ただ、韓国語母語話者の中には、-에게 대하는を不自然に感じる人もいるようである。

9-2 면하다

면하다「面する」は -에をとることが多いが、-를をとる例もかなり存在する。

(92) 문제는 바다에 면한 지역에 인구가 밀집해 있다는 점이다.【겨】問題は海に面した地域に人口が密集しているという点だ。

(93) 말 그대로 연해주(沿海州), 즉 바다에 면한 주라는 뜻이다. 태평양 연안을 따라 남북으로 약 900km나 길게 뻗어 있다.【천】言葉通り沿海州、すなわち海に面した州という意味だ。太平洋沿岸に沿って南北に約 900kmも長く伸びている。

(94) 용암의 원추형들이 만나 용암 동굴들과 바다에 면한 절벽들을 이루어 자연적인 경치에 절묘한 경관을 더 해주고 있다.【30】溶岩の円錐形群が会って溶岩の

洞窟群と海に面した絶壁を形成し自然の景色にさらに絶妙な景観を作り出している。

(95) 애일당은 바로 바다를 면한 집이라 해 뜨는 광경이 장관이었다. 【광】 愛日堂はまさに海(に)面した家なので、日が昇る光景が壮観であった。

(96) 저녁 해가 저문 어스름한 밤에는, 가게 앞 바다를 면한 공간에 테이블을 내놓고 친구와 둘러앉아 파도 소리를 들으며 인생과 예술을 이야기해야 한다. 【영남】 夕日くれた薄暗い夜には、店の前の海(に)面した空間にテーブルを出して友達と車座になって波の音を聞きながら人生と芸術について語らなくてはならない。

(97) 용문사를 지나 남쪽으로 더 내려가면 바다를 면한 절벽 위에 눈이 층층이 펼쳐지는 다랭이 마을에 도달한다. 【이순】 龍門寺をすぎて南にさらに降りていくと海(に)面した絶壁の上に田んぼが幾重にも広がるタレンイ村に到達する。

これらの例は一見ニュアンスに違いはなさそうだが、よく見ると話者の視点が違うことがわかる。(94)と(97)は同じ「海に面した絶壁」という語句が使われているが、-에의(94)は遠くから絶壁を見て描写した表現であり、-를의(97)は絶壁の上から海を見る視点で述べられている。このことは、바다에 면한 절벽で画像検索をしてみると、海から絶壁を望む画像や、絶壁を横から望む画像が出てくるが、바다를 면한 절벽では絶壁の上から撮った写真が出てくることからわかる。また、(92)(93)は地図などを使った客観的な説明で、(95)はお堂から見た光景であり、(96)は実際に海を見ている情景を描写している。

つまり、A에 면한 Bは、AからBを見た、あるいは遠くからBを客観的に見た表現であり、A를 면한 Bは、BからAを見た主観的な表現であると言える。

9-3 접하다

면하다「面する」に似た動詞として접하다「接する」があり、これも-에を取ることのほうが多い。¹⁷

(98) 상점은 대로변에 면해야 장사를 할 수 있으며, 특히 도로를 접하는 면이 많을수록 유리하다. 【집】 商店は大通りに面してこそ商売が成り立つし、特に道路(に)

接している面が多いほど有利である。

(99) 출입구들이 이면 도로를 접하는 경우 개방성이 좋아 쾌적하고 시원한 느낌을 줘 자산의 가치도 높이기 때문에 고객은 물론 임차인에게 선호도가 높다. 【손】 出入り口が二面道路(に)接している場合、開放性があり快適で気持ち良い感じを与え、資産の価値も高めるので顧客はもちろん借り手にも好評である。

(100) 시네마플러스는 (中略) 대로변에 위치하며 3면이 도로를 접하고 있다. 【시사】 시네마플러스는 (中略) 大通り沿いに位置し、三面が道路(に)接している。

(101) 건축물의 대지는 2m 이상이 도로에 접하여야 한다. 1. 대지가 도로에 접하는 길이가 2m 【중개】 建築物の敷地は 2m 以上の道路に接していなければならない。

1. 敷地が道路に接する長さが 2m

(102) 도로에 접하는 집의 전면이 셋집의 입면이라 바깥에서 보면 집 전체가 셋집 처럼 보이기도 하는데 【한국】 道路に接する家の前面が新築の立面なので外から見ると家全体が新築のように見えもするが

(103) 두 로드뷰를 비교해 보니 2008년에는 경매 물건이 좁은 도로에 접해 있다.

【땅】 二つのロードビューを比較してみると 2008 年には競売物件が狭い道路に接している。

これらも違いはほとんど感じられないが、あえて言うなら、(98)(99)(100) の例は (101)(102)(103) よりも、よりたくさん道路に接している感がある。韓国人母語話者もそのように感じるようである。また、道路を強調するとき -를を使うという意見もあった。

9-4 조심하다

조심하다는 つぎのような文脈では -를をとることが多いが、-에의例も存在しないわけではない。

(104) 윤도현 학생 역시 이 점을 조심해야 한다고 강조 한다. 【1 등】 学生のユンドヒョンもやはりこの点(に)氣をつけなければならないと強調する。

(105) 그래도 언제 어느때 불쑥 나타날지 모르니 밤길을 조심해야 한다는 것이다.

【오마】それでもいつ何時突然現れるかもしれないから夜道（に）気をつけなければならぬのである。（野生動物）

(106) Iif 함수를 사용할 때는 이 점에 조심해야 합니다. 【역】Iif 函数を使用するときはこの点に気をつけなければなりません。

次の건강「健康」、매사「万事、何事」のような名詞の場合は -에 もよく使われる。特に매사「万事、何事」は -에 の使用例の方が多い。

(107) “그럼 전화 끊는다.” “예 아버지. 건강에 조심하세요.” 【거품】「じゃあ電話切るぞ」「はい、おとうさん。健康に気をつけて。」

(108) 제 걱정은 말고 건강에 조심하세요. 【歪】私の心配はしないで健康にお気つけください。

(109) 끝까지 긴장의 끈을 놓지 말고 매사에 조심해야 한다. 【사주】最後まで緊張を切らさずに何事にも気をつけなければならない。

もちろん、-를 の使用例もある。

(110) 66 년생 건강을 조심하세요. 【운세】66 年生まれ 健康（に）気をつけてください。

(111) 요즘처럼 일교차가 큰 날씨에는 건강을 조심하세요~ 【계】最近のように気温差が激しい気候では健康（に）気をつけてください~

(112) 나는 그 앞에서 매사를 조심하고 또 조심했다. 【비】私は彼の前で全てのこと（に）気をつけ、また気をつけた。

これらの例を見ると、具体的な事柄については -를 を使い、抽象的な事柄については -에 を使う傾向があるように見える。(107) と (108) の「健康に気をつけて」は言うなれば挨拶言葉として使っているのに対し、(110) の運勢を記した文章と (111) はもっと具体的に健康に注意するように言っているようである。また (109) の매사에 조심하다「何事にも気をつける」は一種の決まり文句だが、(112) は具体的な事柄すべてに気をつけていることを表している。さらにここでも -를 は強調のニュアンスを伴うと言うこともできるだろう。

9-5 반대하다

つぎに반대하다「反対する」について検討する。

(113) 그 당시 모든 고문들이 아버지 결정을 반대했다.【매】その当時のすべての顧問たちが父の決定(に)反対した。

(114) 친구와 가까운 교수들, 변호사 동료들 모두 내 결정에 반대했다.【F】友達と近い友達、弁護士、同僚たち全てが私の決定に反対した。

(115) 처가 쪽에선 아직도 우리의 결혼을 반대하고 있다.【조】実家の方ではまだ私たちの結婚(に)反対している。

(116) 절대 다수의 한인교회들이 보수적 한인들의 정서상 동성결혼에 반대하고 있다.【기】絶対多数の韓人教会が保守的な韓人たちの感情に配慮して同性結婚に反対している。

(113) と (114)、(115) と (116) はそれぞれ似たような文脈において両方の形が使われており、違いはあまり感じられない。ただし使用例は、반대했다の場合は-에のほうが多く、반대하고 있다の場合は-를のほうが多い。

また、反対の対象となるものを表す名詞の種類によっては-를は使えないことがある。例えば、「決定に反対する意見」のような場合である。

(117) 이 때문에 그의 결정에 반대하는 의견을 낸 의원들이 여러 가지 이유로 제명되는 일이 반복되고 있다.【레】このため、彼の決定に反対する意見を出した議員たちがさまざまな理由で除名されることが繰り返されている。

これに対し、「決定に反対するデモ」ならば両方とも使用例が多い。

(118) 노조는 건물 로비에서 인사 결정을 반대하는 시위를 진행했다.【더】労組は建物のロビーで人事決定(に)反対するデモを繰り広げた。

(119) 총장의 일방적인 결정에 반대하는 시위가 벌어졌다.【외】総長の一方的な決定に反対するデモが繰り広げられた。

결정을 반대하는「決定(に)反対する」が「デモ」のような動きを表す名詞につくことはできるが、「意見」のような動きのない名詞にはつけられないのは、やはり-를が動きを表すニュアンスと結びついているからではないだろうか。

また、「結婚に反対する」という文脈では、身近で具体的な結婚について語るときは -를 を、抽象的、観念的な結婚観について語るときには、-에 を使う傾向にあるように思われる。-를 を使うほうがより切実なニュアンスがあると言えるのではないだろうか。

結 論

以上のように、-에 と -를 の両方をとることができる動詞において、この二つを入れ替えた場合の意味やニュアンスの違いは動詞によってさまざまである。これらの違いの中には大変微妙なものもあり、すべての人が同じように使い分けるわけではないが、おおよその傾向は明らかになったと言える。それらをまとめるとつぎのようになる。

-를	-에
強調	←-----> 非強調
動的	←-----> 静的
感情的	←-----> 観念的
主観的	←-----> 客観的
具体的	←-----> 抽象的
全体	←-----> 一部
正面	←-----> 脇
内部	←-----> 表面

韓国語の助詞には、主に主格を表す -가/-이、対格を表す -를/-을、処格を表す -에 等があるが、これらは言うなれば自分からの距離を表しているようでもある。-가/-이 は自分、-를/-을 は向き合う相手、-에 はその周辺、というように。すなわち -를 を使うと言うことは、自分により近くなるということであり、-에 を使うと言うことは自分からより遠くなるということになる。それが上記のようないろいろなニュアンスとして表れていると言えよう。

- 1 人を表す名詞には -에は付かず、-에게 (話し言葉では -한테) を使う。本論では -에게も -에と同類として扱う。
- 2 日本語の「を」と同様にしばしば他動詞の指標として扱われる。
- 3 「を」と訳すことはできないが、-에、-에게ではなく -를の訳であることを示すために (に) と表示する。
- 4 -에게も使うことはできない。ただし、-와/-과 만나다 ~と会う という言い方は存在する。
- 5 김미령 (2004) 等
- 6 ウェブ上の電子小説やニュース記事、ドラマシナリオなどの文例などを用いる。出典はつぎのとおりである。책을 읽으면 경험이 쌓여!【책】、아기사승 사로잡기【아】、도시의 지배자【도】、마스터 12 권【마】、석연치 않기로【석】、힘 마스터【힘】、청룡의 후예【청】、조선일보【조】、우리가 정말 사랑했을까【우】、주몽【주】、처를 때리고 외【처】、仙・斷食調氣法【仙】、무학비결【7】、가슴에 사무치다【가】、맞춤형 와이프【맞】、마교 소공자【마】、군부의 꽃【군】、디멘션【디】、심색기【심】、매일경제【매】、新羅文學の新研究【新】、화인【화】、해외선물 따라하기【해】、그랬구나. 그럴수도 있겠구나【그】、조선 왕자의 성공기【조선】、그녀가 돌아왔다【그녀】、새로운 세계를 열어주는 도전을 위한 명언【새】、퍼스트 월드【퍼】、한국 소설 문학 대계【한】、청진 - 조선의 오늘【청】、바다를 찾아서!【바】、밤은 아침을 꿈꾼다【밤】、우리가 모르는 대한민국【우리】、이광수소설의비판【이】、전자신문【전】、성주신문【성】、뉴스1【뉴】、대한민국의 빛과 소금【대】、연합뉴스【연】、미주 한국일보【미】、동아일보【동】、뉴스핌【핌】、SBS 뉴스【S】、뉴스톱【톱】、월간중앙【월】、중앙일보【중】、국방일보【국】、경남연합신문【경】、무림통천자【무림】、解放三年史【解】、인물과 사상 중국지【중국】、금의위사【금】、1026【10】、사랑, 그 매혹적 이름【사】、껌질과 속살【껌】、팝뉴스【팝】、더군뉴스【더】、여대공【여】、여행하는 집【여행】、권오【권】、초일류들의 뇌 사용법【초】、나의 그대는 악마【나】、한겨레【겨】、천지일보【천】、일상에서 생각 깨우기【일상】、끌리는 사람은 1%가 다르다【끌】、2014 미래의 직업세계【20】、네 법대로 해라【네】、일류의 육아법【일】、중한성어속담대사전【중한】、광해군【광】、이순신을 찾아 떠나는 여행【이순】、30년 간 북미와 아시아를 오간 한 인류 학자의 이야기【30】、영남일보【영남】、우리가살아온집【집】、손님 끄는 알짜 입지 3선【손】、2016 No.1 공인중개사 2차 입문강의【중개】、한국일보【한국】、나는 오늘 땅만 산다【땅】、시사뉴스【시사】、거품시대【거품】、新東亞【亜】、사주와 자연이치【사주】、오늘의 운세【운세】、1등은 당신처럼 공부하지 않았다【1 등】、오마이뉴스【오】、엑셀 2016 매크로 & VBA 마이클【엑】、자유게시판【게】、비단길【비】、글로벌-이슈 24【글】、매일경제【매】、기독교일보【기】、더팩트【더】、외롭지 않은 페미니즘【외】、레디앙【레】
- 7 「현대 한국어 동사 구문 사전」1997によれば、-에와 -를의兩方をとることができるとされる動詞は多数あり、漢字語+하다の構造のものも多いが、その中には google などの検索エンジン検索するとどちらかの用例が極端に少なく、実際に兩方使われているか疑わしいものもある。そこで本稿では、兩方の用例が多い固有語を中心に扱い、漢字語+하다는特徴的なものをとりあげることにする。
- 8 被験者 17人が 0 (全く不可能) から 4 (自然な表現で自分もよく使う) までで採点した結果の平均は 0.82であったという。
- 9 韓国在住の母語話者にインタビューした。
- 10 장유진 (1999) では次のような例を示してこのことを説明している。진승이가 자전거를 타고 공원에 간다. 친스나가자전거(に)乘着て公園に行く。진승이가 자전거를 타고 공원을 간다. 친스나가자전거(に)乘着て公園に行く。공항에 가다가 교통사고를 당했다. 公園に行く途中で交通事故にあった。공항을 가다가 교통사고를 당했다. 公園に行く途中で交通事故にあった。
- 11 移動動詞ではないが、つぎの살다の例もこれと類似している。우리는 좋은 시대에 살고 있다. 我々は良い時代に生きている。우리는 '재미의 시대'를 살고 있다. 我々は「面白さの時代」を生きている。
- 12 김미령 (2004) では、物理的な空間を意味する一般的な場所や、集会や集まりを意味する対象化された場所を表す名詞 (학교學校、부산釜山、수련회研修會など) は -에와 -를の兩方をとことができ、抽象的な場所や具体的な場所を表す名詞 (이 부분 この部分、도서관 図書館の前など) は -에のみ、目的 (行為) の意味しかない名詞 (구경見物、등산登山など) は -를のみをとることができることをあげてこの用法を説明している。
- 13 어디를どこ (に) やその縮約形である어딜も怒りや驚きを表す文脈でよく使われる。

너랑 내가 어딜 가!【우】あんたと私がどこ (に) いくのよ! (非常に怒って)

용태도 편치 않으신 분이 어딜 가신단 말씀입니까?【주】容体もお悪いのにどこ (に) いらっしゃると言うのですか。...떠나 온 자가 언제라고 또 어디를 가?【주】・・・を出てここに来てからまだいくらも経っていないのに、またどこ (に) 行くのよ?

- 14 -아/어 있다は他動詞には付かない性質があり、-를は韓国語の他動詞の指標として使われるので、-를と -아/어 있다は結びつきづらいことが考えられる。
- 15 「候補」は人なので、-에 게가付く例もある。지방선거에서는 민주당 김경수 후보가 한국당 김태호 후보에 게 이겼다.【경】地方選挙では民主党の金ギョンス候補が韓国党の金テホ候補に勝った。
- 16 この場合は -를と -에の使用頻度にあまり差がない、これは、「戦争」が打ち負かす対象ではないからだと思われる。
- 17 「道路に接している」という意味では、a 도로를 접하고 있다. b 도로를 접해 있다. c 도로에 접하고 있다. d 도로에 접해 있다. という表現が考えられるが、実際には d が最もよく使われ、つぎに多いのが a である。c の用例はかなり少なく、d は極端に少ない。

参考文献

- 고광주 (2003). 국어의 격교체 구문 연구. 한국어학, 18, 389-408
- 김미령 (2004). 격교체 양상에 따른 동사 분류에 대한 연구. 한국어학, 25, 161-190
- 김은희 (2007). 타동성 표지에 대한 일한 대조연구. 한국일본어학회 학술발표회, 79-83
- 맹형홍 (2016). 현대 한국어 조사 '에'의 인지의미론. 한국학연구, 41, 325-366
- 송창선 (2008). 국어 자동사와 타동사의 구분 문제. 언어과학연구, 47, 35-55
- 송창선 (2019). 격조사 교체 현상을 통해 본 국어의 격 기능. 국어교육연구, 71, 21-38
- 신서인 (2016). 대격 중출 구문에서의 '을/를'의 기능 연구. 우리말글, 68, 1-35
- 장유진 (1999). 국어의 격조사의 의미 기능 연구 - {이/가}, {을/를}, {의}, {에}, {에서}, {(으)로}를 중심으로 -. 돈암어문학, 12, 327-356
- 조경순 (2004). 국어 처소교차 구문 연구. 한국어학, 25, 297-320
- 최형강 (2017). 언어 구성에서의 을/를 명사구 중출. 한국어 의미학, 56, 111-133
- 한정환, 이동혁 (2005). '에/를' 교체 구문의 연결 알고리즘. 언어, 30(3), 533-550
- 현대 한국어 동사구문사전 (1997) 두산동아
- 황국정 (2015). 중세국어 '-에/를' 격 교체 구문에 관한 연구. 언어와 정보 사회, 24, 191-222
- 李善姬 (2011). 韓国語の「가다」との結びつきから見た「-에」, 「-로」, 「-를」明治学院大学教養教育センター紀要 5, 135-150
- 禹吳穎 (2014). 韓国語における「ul」格名詞句の重出をめぐって 学習院大学人文科学論集XXIII, 1-40

